

極東國際軍事裁判所

亞米利加合衆國 其他

對

荒木貞夫 其他

宣誓供述者

供述者 井原潤次郎

自分儀我國ニ行ハルル方式ニ從ヒ元ヅ別紙ノ通り宣誓ヲ爲シタル上次ノ如ク供述致シマス

供　述　書

井　原　潤　次　郎

一、私ハ一九四二年七月九日カラ一九四五五年二月十日マテ朝鮮軍參謀長、二月十一日カラ終戦マテ第十七方面軍參謀長兼朝鮮軍管區參謀長テアリマシタ。

終戦時ノ私ノ階級ハ陸軍中將テアリマシタ。

私ハ目下佐賀市赤松町二十七番地ニ店住シテ居リマス。

二、私カ朝鮮軍參謀長ニ着任シタトキハ既ニ俘虜約一千名ヲ朝鮮ニ收容スルコトカ決定セラレ候俘虜約一千名ヲ朝鮮ニ收容スルコトカ決定セラレテ俘虜收容所ノ職員モ着任シテ漏成ヲ完了シテ俘虜ノ到着ヲ待チツツ收容所建物ノ新設・改造並ニ俘虜取扱ニ關スル準備ニ着手シテ居リマシタ。

三、俘虜收容所ノ本所ハ京城府龍山町ノ朝鮮軍司令部ノ西北方約五百米ノ地點ニアル煉瓦造四階建ノ既設建物ヲ利用シテ生活居住ニ適スル如ク改造ト附屬設備ヲシタモノテアリマシテ朝鮮人家屋モ他ト比較シテ疎散テアリ周圍モ靜カアリ人通りモ少ク管理ニ便利ナ健康ニ適シタトコロニ選定セラレマシタ。

仁川分所ハ海岸ニ近イ民衆ノ少イ高燥ナ地ニアリ健康ニモ管理ニモ便利ナトコロニ新設セラレマシタ。

## 四

興南分遣所ハ興南ニアル日本窒素工場ノ西方ノ丘上テ高燥ナ土地ニ特  
別ニ設備シタモノニアリマシテ管理及ヒ健康ニ適シ且労務ニ便利ナル如  
ク選定セラレタモノニアリマス。

、俘虜達ハ勤モスレババラツクノ外ノ人ニ近接ヲ求メテ情報ヲ集メタリ  
不潔ナ食料ヲ購買スル等ノコトガアリ勝テアリマスカラ之等管理上良ク  
タモノニアリマス。

朝鮮人ニ宣傳シタリ俘虜ニ侮辱ヲ興ヘル企圖ニ依ツテ選定セラレタモ

ノハ一ヶ所モアリマセン。

俘虜ノ就労スル場所モ市中ノ繁華ナ所ヤ往來ノ多イ道路ノ近傍ヲ避け  
俘虜達力ナルヘク人目ニカカラナイテ勵クコトノ出來ル郊外又ハ郊外近  
クニ仕事場ヲ選定シ其場所カ遠イ距離ニアルトキハ自動車テ運ンテ歩行  
ヲサセナカツタナト凡ソ宣傳トハ極遠イ寧ロ反對方向ノ俘虜達ノ名譽ヲ  
保護シテヤルコトニ勉メマシタ。

、法廷證一九七五號「英人俘虜收容ニ伴フ一般民衆ノ反響」提出ノ件ニ  
ヨル報告ハ朝鮮内惑兵隊・各地ノ兵事部・停戦場司令部・兵站部隊ノ恒  
例定期ノ報告書及ヒ朝鮮總督府軍務局ノ通報等刀到着シタノヲ參謀部ニ  
於テ取纏メ之ヲ参考ノ爲メニ座卓首ニ提出シタ恒例的情報々告ノ一ツテ

アリマス。前記部本部隊ノ報告ハ軍力命令シテ集メタモノヲモ又勿論陸  
陸軍省カラ指示又ハ要求サレテ集メタモノテモアリマセヌ。參謀長カラ  
謀長、次官ヲ發受信者トスル陸軍ノ習慣ニ從ツタモノノテアリマス。

本報告ハ公表サレタモノテハアリマセン。

六、俘虜ノ取扱等ニ關スル朝鮮軍諸規定、指示等ハ俘虜收容取扱ニ關スル  
規則、其他中央ヨリ交付セラレタル訓示、指示及俘虜管理部ニ於ケル俘  
虜收容所會議ニ於テ同部長官其他ノ説明等ニ基キ朝鮮ノ事情ニ適スル如  
ク勘案策定シタモノノテアリマス。

七、俘虜ノ勞務ヲ陸軍大臣ニ申請スルニ當ツテハ收容所及ヒ軍ニ於テ検討

ヲ加ヘ法規ニ悖ツタリ人道ニ反シタリシナイノミナラス軍機ヲ保護シ秘  
密ヲ確保スルコトモ十分ニ考慮セラレタノテアリマシテ直接作戦行動ニ  
關係アル勞務ニハ闊與セシメマセンテシタ。

八、板垣軍司令官ハ兵人俘虜達力兩方ノ暑イトコロニ慣レタ身体テ寒冷テ  
生活條件ノ違フ朝鮮へ來ルタメニ健康ヲ害スルコトヲ心配シ且又四十余  
日長イ間ノ航海ニ依リ病人モ出來一般ニ不健康ニナツテオルコトヲ想像  
シテ之カ恢復ト一般ノ健康保持ニハ特ニ部下ニ注意ヲ與ヘ、バラツクノ

位置ヤ設備ニモ其ノ點ニ付キ特別ノ注意ヲ拂フヘキコトヲ要求シマシタ。  
其上私ヘ參謀長ニバラツクノ下検分ヲサセル外板垣將軍自身參謀ト副  
官ヲ帶同シテバラツクニ至リ建物施設ノ内外ヲ検査シテ收容所長ト建造  
擔任ノ經理部職員ニ注意ヲ與ヘマシタ。  
板垣將軍ハ屢々俘虜ノ取扱ニツキ私ト相談サレ俘虜ノ食事、被服、病氣  
治療等ニ關シ指示ヲ與ヘラレマシタ。  
例へバ食事ニ關シテハ日本兵ト同様ノ栄養價值ヲ與ヘルト同時ニ彼等  
ノ嗜好ヲ考慮シテ其レニ適スルモノヲ多量ニ與ヘルトカ原料ノ儘テ與ヘ  
俘虜自身ニ好ム様ニ調理サス様指示シマシタ。  
病氣治療ノ場合ニハ俘虜ノ草薙ニモ立會セ治療ニツキ意見ヲキキマシ  
タ。

Def Doc No. 2039

昭和二十二年（一九四七年）七月十一日 於東京都

供述者 井原潤次郎

右ハ當立會人ノ面前ニテ宣誓シ且ツ署名捺印シタルコトヲ證明シマス

同日於

立會人 安部

明

Def Doc No. 2039

宣

誓

書

良心ニ從ヒ眞實ヲ述ベ何事ヲモ默秘セズ又何事ヲモ附加セザルコトヲ  
誓フ

署名捺印 井原潤次郎